

# ほし み 星を見よう!

2022年7月号

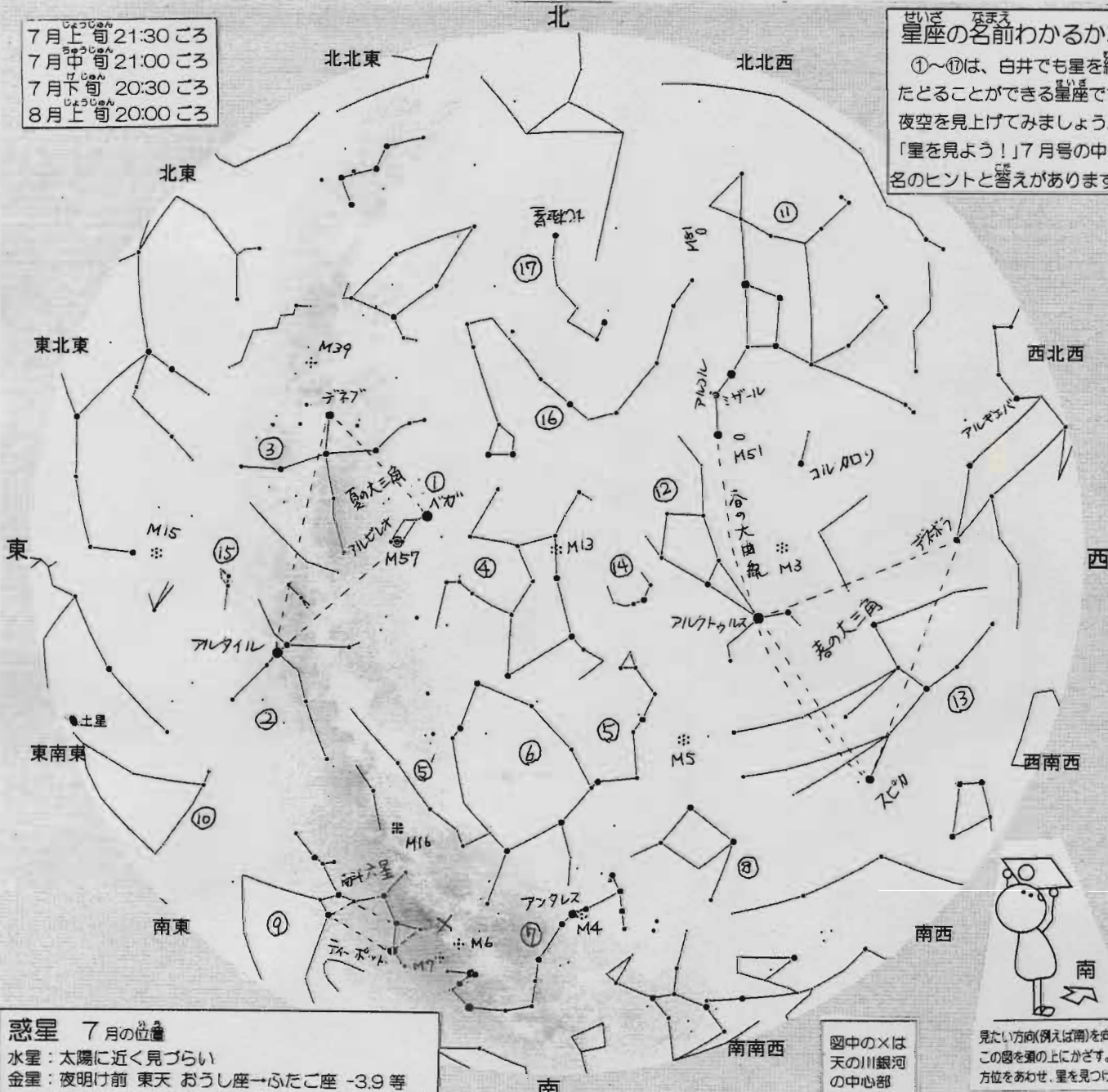
No.283

2022年7月9日

しろいしぶんか 白井市文化センター・プラネタリウム  
 〒270-1422 白井市復1148-8  
 TEL047-492-1125 Fax047-492-8016  
 e-mail: planet@center.shiroi.chiba.jp  
 URL: https://www.center.shiroi.chiba.jp/planet/

7月上旬 21:30ごろ  
 7月中旬 21:00ごろ  
 7月下旬 20:30ごろ  
 8月上旬 20:00ごろ

星座の名前わかるかな?  
 ①~⑯は、白井でも星を結んでたどることができる星座です。夜空を見上げてみましょう。「星を見よう!」7月号の中に星座名のヒントと答えがあります。



見たい方向(例えば南)を向き、この図を頭の上にかざす。方位をあわせ、星を見つける。

**惑星 7月の位置**  
 水星：太陽に近く見づらい  
 金星：夜明け前 東天 おうし座→ふたご座 -3.9等  
 火星：未明 東天 うお座→おひつじ座 0.5等→0.2等  
 木星：南天 東天 くじら座 -2.4等→-2.7等  
 土星：夜半 南天 やぎ座 0.6等→0.4等

図中の×は天の川銀河の中心部  
 ブラックホールのある位置

◆マスク着用とドーム入場前に手指消毒をお願いします  
 ★土曜日・日曜日・月曜日以外の祝日・夏休み中(7/21~8/31)の水曜日~日曜日  
 ☆ロイヤルアワー 子ども向け 11:30 ぼくたち惑星8きょうだい } どちらも前半の星空解説は生解説です  
 ☆アストロアワー 一般向け 15:00 ヘルクレス座物語 }  
 上記放映料金：市内大人280円 高校生以下110円 予約不要  
 市外大人350円 高校生以下160円 放映開始時刻30分前から券売  
 ★星を見る会 要予約 対象：小学生以上(小学生は保護者同伴) 小学生未満は受付不可  
 8月6日(出)19:30 約75分間 申し込み期間：7月20日~25日(必着) 定員30人  
 ハガキかメール申し込みです。詳細はホームページ等を参照してください。 超えた場合は抽選  
 ドーム内で解説後、実際の空で星座を探し、望遠鏡で月、星団他を観望  
 大人200円 高校生以下無料 雨天曇天の場合はドーム内で約45分間の星空解説のみ  
 ☆プラネタリウムの休館日 毎週月曜日と年末年始 昼間の星見会 次回は10/8 11:30~13:30 太陽黒点を見る会

どせいとうじょう 宵の空に土星登場  
 今季の惑星達の先頭、土星登場です。(土星の南中は深夜)  
 写真は昨年(2021年)の土星。今年の土星との違いは8月号でお知らせします



写真提供：平野 岳史



よい てんちよう  
**宵の天頂にヘルクレス座** ←

白井プラネ、久々のオート番組  
土・日・夏休み中の水～日 15:00 放映中

88 星座の中で 5 番目に大きい星座です。

(大きい順 1 うみへび座 2 おとめ座 3 おおぐま座 4 くじら座)

3等星以下の暗い星が多いのです

が、天頂付近に位置していること

もあり、街明かりを避ければ、自

印の「H」形の星並びを見つけるこ

とができます。怪力なことから

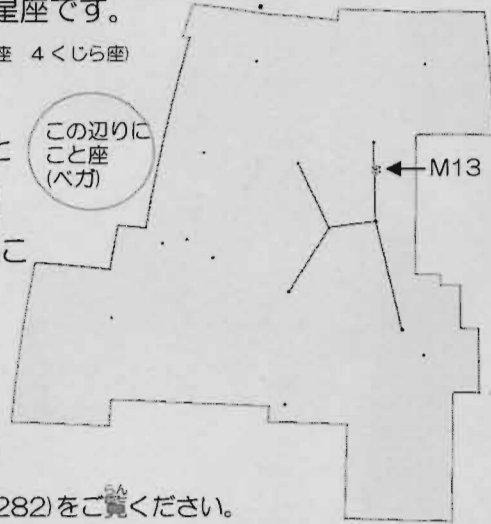
カブトムシの名前にもなってい

ます。また、有名な天体 M13

球状星団があることでも知られ

ています。M13 の写真は 6 月号 (No.282) をご覧ください。

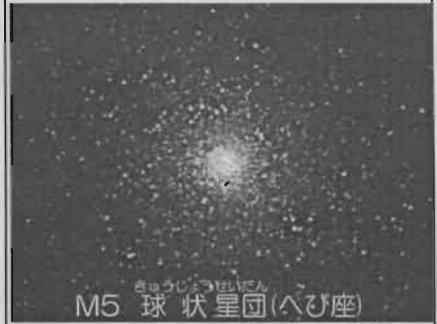
(次号に続く)



図：ステラナビゲーターVer.11/廣アストローツ/廣アスキー

せいだん  
**夏の星団**

写真提供 国立天文台



M5 球状星団(へび座)

(2万4500光年)



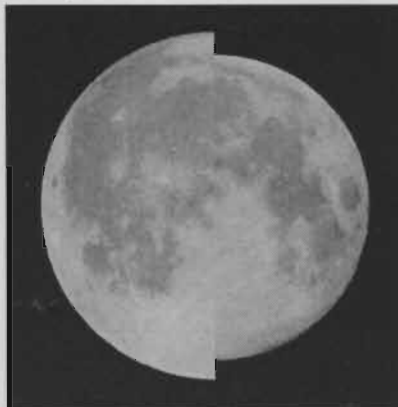
M7 散開星団(さそり座)

(1230光年)

まんげつ  
**今年の7月14日の満月はデカイ!**

月の写真：平野岳史

約 1 ヶ月で地球を回る月の軌道は「円」ではなく「楕円」なので、地球に遠い時と近い時があり、遠いと小さく、近いと大きく見えます。近い時に満月であると近年は「スーパームーン」と呼ばれることがあります。地球と近い時の距離は約 35 万 7000km、遠い時は約 40 万 1000 Km (今年は 1/18) です。右の月写真は一番遠い時と近い時を比較したものです。



見かけ上の大きさの違いを並べたり、重ねたりして比べてみよう

500 円玉(遠い)と 10 円玉(近い)の大きさによく例えられます。実際の空で大きい満月を実感してください。

しんや かせいしよく そうがんきよう  
**深夜の火星食は双眼鏡で!**

7月22日 0:15 東の空

地平線から約 6.6°、月齢 22.5 の暗い蔭の部分から火星が出現するところを見ることができます。

月は地球のまわりを回っているため、毎日輝く位置が西から東に変わります。

さらに月の軌道(白道)と火星の軌道が重なると、月が火星を隠す火星食が起こります。今回の火星食では、月に火星が隠れる様子は月が昇る前に起こるので、見ることはできません。



図：ステラナビゲーターVer.11/廣アストローツ/廣アスキー

じゅうせいれんせいてんたい  
**今月の見どころの重星連星天体**

**ミザール(おおぐま座)**

肉眼二重星のアルコルで、目の検査もしましょう。

**コル・カロリ(りょうけん座)**

黄色の 2.9 等星と紫色の 5.6 等星の二重星。

**アルピレオ(はくちょう座)**

くちばしの星。オレンジ 3 等と青 5 等の星が寄り添うように輝きます。

**こと座 ε 星 ダブルダブルスター**

双眼鏡では二重星、望遠鏡で見ると四重星。二重星(ε 1、ε 2)のそれぞれがさらに二重星。ε 1 は 5.0 等と 6.1 等、ε 2 は 5.1 等と 5.4 等の連星系。

**しろいメール配信サービスに登録しましょう**

下の QR コードで登録してください。イベントの前にメールが届きます。

- ◎コンサート情報
- ◎イベント講座情報
- ◎文化センターイベント情報

